

TASCAM

US-1200

USB2.0 Audio Interface

D01207401A

Quick Start Guide

このたびは、TASCAM USB2.0 Audio Interface US-1200をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
本機は、オーディオ6チャンネル同時入力、2チャンネル同時出力が可能な1Uラックマウントサイズの24ビット/96kHz対応のUSBオーディオインターフェースです。パソコンのディスプレイ上で使えるミキサーパネルには、フェーダーやつまみ、ボタンなどを配置したミキサー画面や各種エフェクト画面を配置し、より直感的な操作が可能です。
本書では、本機の基本的な操作例を紹介します。詳細については、TASCAMのウェブサイト (<http://tascam.jp>) から取扱説明書をダウンロードしてご確認ください。

本機をパソコンに接続する前に、専用ドライバーをダウンロードし、パソコンにインストールしておく必要があります。

安全にお使いいただくために

この取扱説明書の表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は、次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

	警告	以下の内容を見逃して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 電源プラグをコンセントから抜く	万一、異常が起きたら	煙が出た、変なにおいや音がするときは 機器の内部に異物や水などが入ったときは この機器を落とした、カバーを破損したときは すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ずACアダプターの電源プラグをコンセントから抜いてください。異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。 販売店またはティアック修理センター（最終ページに記載）に修理をご依頼ください。
 指示	ACアダプターの電源プラグにほこりをためない	ACアダプターの電源プラグとコンセントの間にゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。定期的（年1回くらい）にACアダプターの電源プラグを抜いて、乾いた布でゴミやほこりを取り除いてください。
 禁止	ACアダプターのコードを傷つけない	ACアダプターのコードの上に重い物をのせたり、コードを壁や棚との間に挟み込んだり、本機の下敷きにしない ACアダプターのコードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、熱器具に近づけて加熱したりしない コードが傷んだまま使用すると火災・感電の原因となります。 万一、ACアダプターのコードが破損したら（芯線の露出、断線など）、販売店またはティアック修理センター（最終ページに記載）をご依頼ください。
 禁止	付属のACアダプターや電源コードを他の機器に使用しない	故障、火災、感電の原因となります。
	交流100ボルト以外の電圧で使用しない	この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。
	この機器を設置する場合は、放熱をよくするために、壁や他の機器との間は少し（20cm以上）離して設置する	ラックなどに入れるときは、機器の天面から1U以上、背面から10cm以上の隙間を空ける 隙間を空けないと内部に熱がこもり、火災の原因となります。
 禁止	機器の上に花瓶や水などが入った容器を置かない	内部に水が入ると火災・感電の原因となります。

	<p>警告 以下の内容が無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。</p>
 分解禁止	<p>この機器のカバーは絶対に外さない カバーを外す、または改造すると、火災・感電の原因となります。 内部の点検・修理は販売店またはティアック修理センター（最終ページに記載）にご依頼ください。</p> <p>この機器を改造しない 火災・感電の原因となります。</p>
	<p>注意 以下の内容が無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。</p>
 電源プラグをコンセントから抜く	<p>移動させる場合は、電源のスイッチを切り、必ずACアダプターの電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外すコードが傷つき、火災・感電の原因や、引っ掛けてけがの原因になることがあります。</p> <p>旅行などで長期間この機器を使用しないときやお手入れの際は、安全のため必ずACアダプターの電源プラグをコンセントから抜く 通電状態の放置やお手入れは、漏電や感電の原因となる場合があります。</p>
 指示	<p>オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明にしたがって接続する また、接続は指定のコードを使用する</p> <p>電源を入れる前には、音量を最小にする 突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となる場合があります。また、モニター機器などの破損の原因となる場合があります。</p> <p>この機器はコンセントの近くに設置し、ACアダプターの電源プラグは簡単に手が届くようにする 異常が起きた場合は、すぐにACアダプターの電源プラグをコンセントから抜いて、完全に電源が切れるようにしてください。</p> <p>この機器には、付属の専用ACアダプターや電源コードを使用する それ以外の物を使用すると、故障、火災、感電の原因となります。</p>
 禁止	<p>ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない 湿気やほこりの多い場所に置かない。風呂、シャワー室では使用しない 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たる場所に置かない 火災・感電やけがの原因となる場合があります。</p> <p>ACアダプターの電源プラグを抜くときは、ACアダプターの電源コードを引っ張らない コードが傷つき、火災・感電の原因となる場合があります。 必ずプラグを持って抜いてください。</p>
 禁止	<p>濡れた手でACアダプターの電源プラグを抜き差ししない 感電の原因となる場合があります。</p>
 注意	<p>5年に一度は、機器内部の掃除を販売店またはティアック修理センター（最終ページに記載）にご相談ください。 内部にほこりがたまったら、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となる場合があります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行くと、より効果的です。なお、掃除費用については、ご相談ください。</p>

その他の注意

- 次のような場所に設置しないでください。故障の原因となります。
 - 振動の多い場所
 - 極端に温度が低い場所
 - 窓際などの直射日光が当たる場所
 - 湿気の多い場所や風通しが悪い場所
 - 暖房器具のそばなど極端に温度が高い場所
 - ほこりの多い場所
- パワーアンプなど熱を発生する機器の上に本製品を置かないでください。
- 本機の上に物を置かないでください。
- 本機を寒い場所から暖かい場所へ移動したときや、寒い部屋を暖めた直後など、気温が急激に変化すると結露を生じることがあります。結露したときは、約1～2時間放置した後にご使用ください。

この装置は、クラスB-技術情報装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書にしたがって正しく取り扱いをしてください。 VCCI-B

本製品の構成

本製品の構成は、以下の通りです。

なお、開梱は本体に損傷を与えないよう慎重に行ってください。
梱包箱と梱包材は、後日輸送するときのために保管してください。
付属品が不足している場合や輸送中の損傷が見られる場合は、当社までご連絡ください。

● 本体	x1
● ACアダプター (GPE248-120200-Z)	x1
● USBケーブル	x1
● ラックマウントビスキット	x1
● SONAR LE (Windows用) インストールガイド	x1
● Ableton Live Lite インストールガイド	x1
● 保証書	x1
● クイックスタートガイド (本書)	x1

注意

本機には必ず、付属の専用ACアダプター (GPE248-120200-Z) をご使用ください。また、付属のACアダプターを他の機器に使用しないでください。故障、火災、感電の原因となります。

本書の表記

本書では、以下のような表記を使います。

- 本機および外部機器のボタン／端子などを「**PHONES**つまみ」のように太字で表記します。
- パソコンのディスプレイ上に表示される文字を《**OK**》のように《 》で括って表記します。
- 必要に応じて追加情報などを、「ヒント」、「メモ」、「注意」として記載します。

ヒント

本機をこのように使うことができる、といったヒントを記載します。

メモ

補足説明、特殊なケースの説明などを記載します。

注意

指示を守らないと、人がけがをしたり、機器が壊れたり、データが失われたりする可能性がある場合に記載します。

商標および著作権に関して

- TASCAMおよびタスカムは、ティアック株式会社の登録商標です。
- Windows 8、Windows 7、Windows XP および Windows Media は、米国 Microsoft Corporation の米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- Apple、Macintosh、Mac OS、Mac OS X、および iTunes は、Apple Inc. の商標です。
- SONAR は、米国Cakewalk, Inc. の商標です。
- Ableton は、Ableton AGの商標です。
- その他、記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。

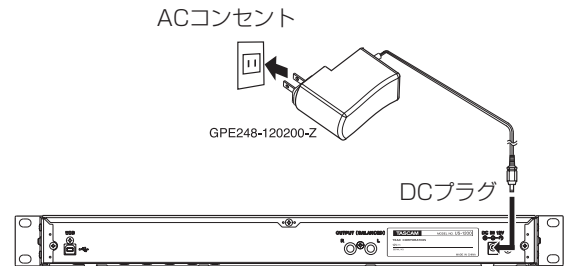
ユーザー登録について

TASCAMのウェブサイトにて、オンラインでのユーザー登録をお願い致します。

<http://tascam.jp/support/registration/>

電源を接続する

あらかじめ本機の**STANDBY/ON**スイッチがスタンバイ状態になっていることを確認します。
付属の専用ACアダプター (GPE248-120200-Z) を使って、以下のように本機の電源を接続します。



注意

必ず同梱されている専用ACアダプター (GPE248-120200-Z) をお使いください。他のACアダプターを使用すると故障、発熱、発火などの原因になります。

ドライバースフトをインストールする

本機を使用するには、パソコンにドライバーをインストールする必要があります。

ドライバーはTASCAMのウェブサイト (<http://tascam.jp/>) から、ご使用のOSに適した最新のドライバーをダウンロードしてください。

注意

インストール終了後にパソコンの再起動が必要になることがあります。必要に応じてデータのセーブなどを行った上で他のアプリケーションを終了させてください。

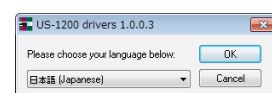
Windows用ドライバーのインストール

メモ

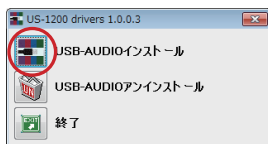
- パソコンにUSBケーブルで接続する前にドライバーをインストールしてください。
すでにUSBケーブルを接続して《新しいハードウェアの検出ウィザード》が起動してしまっている場合には、ウィザードをキャンセルして終了した上で、USBケーブルを抜いてください。
- ドライバーのインストール中に、《Windowsロゴテストに合格していません...》という警告が表示されることがあります。このメッセージが表示されたときは、《続行》をクリックしてインストールを続けてください。

ドライバーのインストール手順

1. TASCAMのウェブサイト (<http://tascam.jp/>) から、ご使用のOSに適した最新のドライバーをダウンロードし、ご使用のパソコンに保存してください。
2. 保存したドライバー (zipファイル) をデスクトップなどに解凍してください。
3. 解凍して生成されるフォルダー内にある《**setup.cmd**》をダブルクリックして、インストールを開始します。
4. しばらくすると言語選択の画面が表示されますので、上下カーソルキーを使用して希望の言語を選択し《**OK**》ボタンをクリックします (以降は日本語を選択した場合の画面およびボタン名による説明になります)。



5. 次の画面が表示されたら、《USB-AUDIO インストール》ボタンをクリックします。

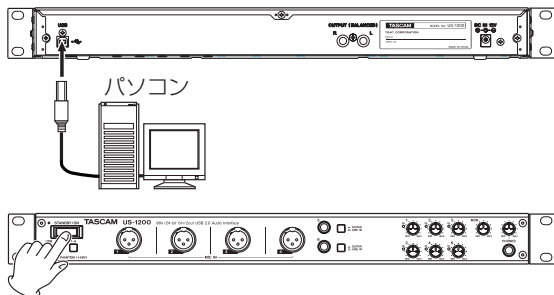
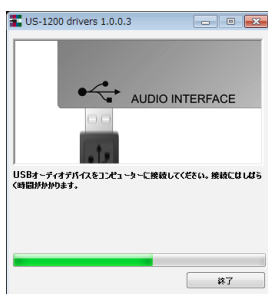


6. 使用ライセンス許諾契約書の内容を確認し、《使用許諾契約の条項に同意します》を選択します。

次に《インストール》ボタンをクリックすると、インストールが開始されます。



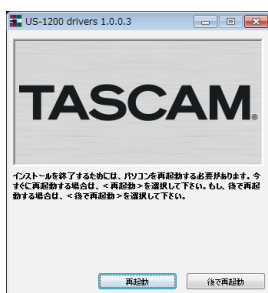
7. 次の画面が表示されたら、付属のUSBケーブルを使って本機とパソコンを接続し、本機のSTANDBY/ONスイッチを押して電源を入れます。



注意

電源を入れるときには、本機のMONつまみ、およびPHONESつまみを下げた状態（「MIN」）で行ってください。モニター機器から突然大きな音が出て、機器の破損や聴力障害の原因になる可能性があります。

8. 次の画面が表示されたら、インストール作業は完了です。《再起動》ボタンをクリックします。
インストーラーを終了し、パソコンを再起動します。



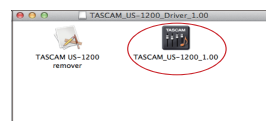
Mac OS X用ドライバーのインストール

メモ

- パソコンにUSBケーブルで接続する前にドライバーをインストールしてください。
- Gatekeeperの設定により、インストール中に警告画面が出る場合があります。Gatekeeperについては、取扱説明書 第3章「インストール」の「Gatekeeperについて」取扱説明書をご参照ください。

ドライバーのインストール手順

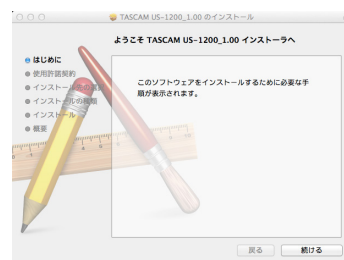
- TASCAMのウェブサイト（<http://tascam.jp/>）から、ご使用のOSに適した最新のドライバーをダウンロードし、ご使用のパソコンに保存してください。
- 保存したドライバーのディスクイメージファイル《TASCAM_US-1200_driver_X.XX.dmg》をダブルクリックし、開いたフォルダー内の《TASCAM US-1200 X.XX》をダブルクリックします。



メモ

ご使用の環境により、ダウンロードしたzipファイルが解凍されていない場合があります。その場合は、zipファイルを解凍してからディスクイメージファイルをダブルクリックしてください。

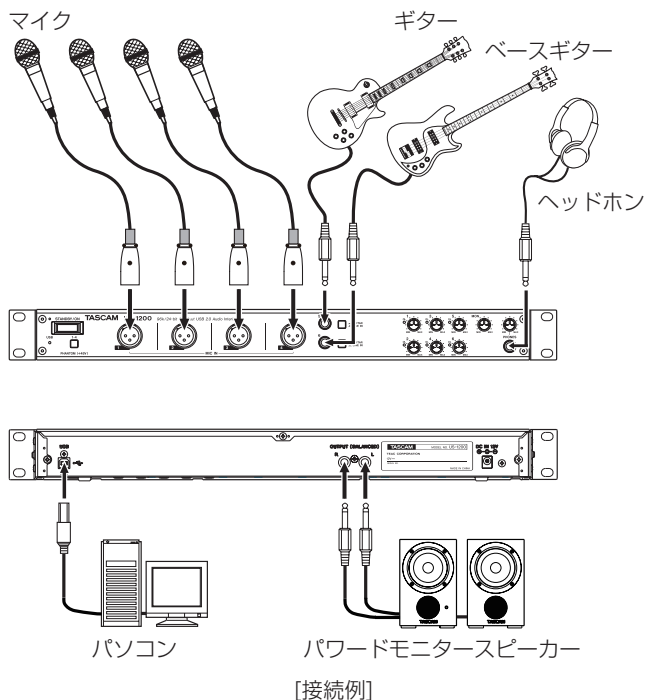
- インストーラーが起動しますので、その後は画面の指示にしたがってインストールを進めます。



- 次の画面が表示されたら、インストール作業は完了です。《Restart》ボタンをクリックします。
インストーラーが終了し、パソコンが自動的に再起動します。



外部機器を接続する



注意

- 接続する前に、本機および接続する機器の電源を全てオフまたはスタンバイ状態にしてください。
- PHANTOM (+48V)** スイッチは、4つの入力チャンネルを同時に切り換えます。ファントム電源を必要としないマイクを接続している場合は、ファントム電源をオンに設定しないでください。
- ダイナミックマイクなどファントム電源を必要としないマイクを接続しているときにファントム電源をオンにすると、機器が故障する恐れがあります。
- ファントム電源をオンにした状態で、マイクの抜き差しをしないでください。大きなノイズを発生し、機器が故障する恐れがあります。
- ファントム電源のオン／オフ切り換えは、**MON**つまみと**PHONES**つまみと《**MIXER**》タブ画面のマスターフェーダーを下げた状態で行ってください。マイクによっては大きなノイズを発生し、モニター機器から突然大きな音が出て、機器の破損や聴力障害の原因になる可能性があります。
- リボンマイクの中には、ファントム電源を供給すると故障の原因になるものがあります。疑わしい場合は、リボンマイクにファントム電源を供給しないでください。

USBケーブルを接続する

付属のUSBケーブルを使って、パソコンと接続してください。

メモ

- USB1.1には、対応していません。
- USB3.0ポートに接続した場合は、USB2.0と同等なHigh Speedモード（最大480Mbps）で動作します。
- パソコンのサスペンドモード（スリープモード）には対応していませんので、サスペンドモードの解除後は正常に動作しない場合があります。その場合、USBケーブルを接続し直してください。

注意

USB機器の中には、USBバスを頻繁に使用するものがあります。オーディオ信号のドロップアウト、クリックノイズなどを避けるために本機が接続されているUSBバス上には、他のUSB機器を接続しないことを強くお勧めします。ただし、USBキーボードとUSBマウスは接続しても問題ありません。

電源を入れる

フロントパネルの**STANDBY/ON**スイッチを押して、電源をオンにします。スイッチ左上のインジケーターが緑色に点灯します。また、パソコンに正しく接続されドライバーがインストールされている場合、USBインジケーターがオレンジ色に点灯します。

注意

電源を入れるときには、**MON**つまみ、および**PHONES**つまみを下げた状態で行ってください。モニター機器から突然大きな音が出て、機器の破損や聴力障害の原因になる可能性があります。

パソコンの設定をする

メモ

デジタルオーディオ信号の処理は、パソコンのCPUにかなり大きな負荷となりますので、他のアプリケーション（特にグラフィックやインターネットツール）を動作させることで処理が追いつかなくなる可能性があります。オーディオアプリケーションを使用しているときには他のアプリケーションを立ち上げないようにしてください。

《INTERFACE》タブ画面を設定する

先にインストールしたドライバーソフトを起動します。

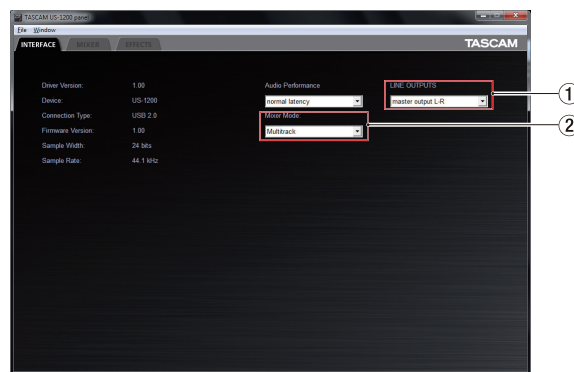
● Windowsの場合

通知領域にある《TASCAM US-1200 Mixer Panel》アイコンをクリックするか、またはWindows《すべてのプログラム》にある《TASCAM》から《TASCAM US-1200 Mixer Panel》を選択します。

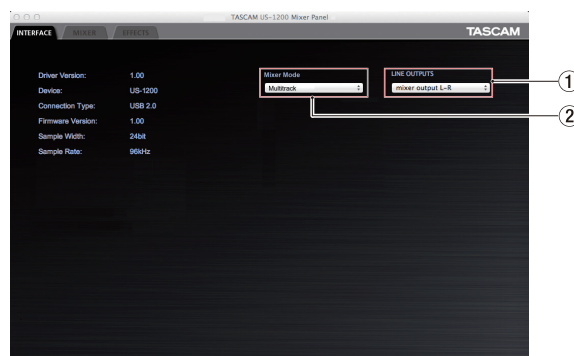
● Mac OS Xの場合

《アプリケーション》から《TASCAM US-1200 Mixer Panel》を選択して起動し、パソコンのディスプレイ上にミキサーパネルを表示します。

ミキサーパネルの《INTERFACE》タブをクリックして、下記の《INTERFACE》タブ画面を表示します。



[Windows版 《INTERFACE》タブ画面]



[Mac版 《INTERFACE》タブ画面]

① LINE OUTPUTSセレクトター

OUTPUT (BALANCED) L / R端子、およびPHONES端子から出力する信号を選択します。

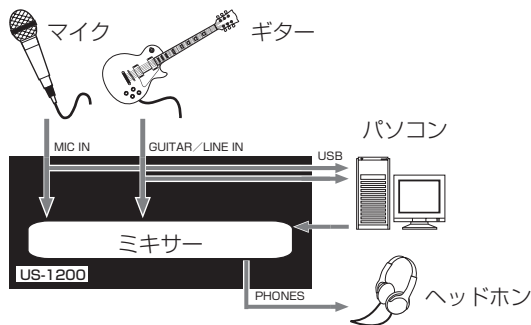
② Mixer Modeセレクトター

本機への入力をそのままパソコンに送るマルチトラックモードと、本機への入力とパソコンからの出力をミックスした後にパソコンに戻すステレオミックスモードのどちらのモードを使うかを選択します。

MULTI TRACKモード：

本機への各入力は、ミキサーに入ると同時にUSB経由で別々のチャンネルとしてパソコンに送られます。ミキサーからはステレオで出力され、ヘッドホンや出力端子に接続したスピーカーなどで聴くことができます。

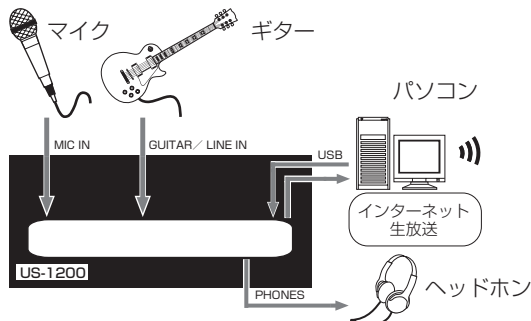
使用例：DAW（例：SONAR）などを使用する場合



STEREO MIXモード：

本機への各入力とパソコンからの出力は、ミキサーのみに送られ、ミキサーからのステレオ出力がUSB経由でパソコンに送られます。ミキサーからはステレオで出力され、ヘッドホンや出力端子に接続したスピーカーなどで聴くことができます。

使用例：インターネットの生放送などを行う場合や、後のミックスダウン作業無しにステレオで録音したい場合など



WindowsおよびWindows Media Player

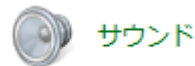
ここでは、Windows 7 での設定方法を説明します。他のOSの場合には、取扱説明書 第6章「アプリケーションガイド」をご参照ください。

1. 全てのアプリケーションを終了し、《スタート》より《コントロールパネル》を開きます。

2. 《サウンド》画面を開きます。

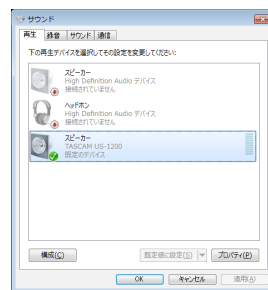
メモ

上記項目が見あたらない場合は、《ハードウェアとサウンド》をクリックした後に表示されます。



3. 《再生》タブ画面の《スピーカー TASCAM US-1200》を右クリックし、表示されたポップアップメニュー内の《既定のデバイスとして設定》をクリックします。

このとき、緑のチェックマーク（✓）が《スピーカー TASCAM US-1200》に移動します。



メモ

本機を録音デバイスとして使う場合には、《録音》タブ画面の《ライン入力 TASCAM US-1200》を《既定のデバイスとして設定》に設定します。

4. 設定が終了したら、《OK》ボタンをクリックします。

5. Windows Media Playerを起動し、オーディオファイルの再生を行ってください。

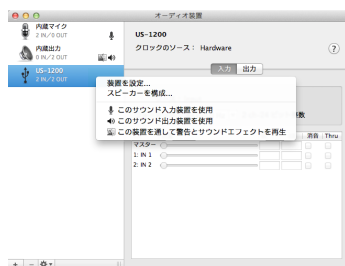
メモ

- Windows Media Playerを起動した状態で設定を行った場合は、Windows Media Player側でデバイスの切り換えが認識されません。この場合、Windows Media Playerを再起動してください。
- 上記設定／操作を正しく行っても音が出ない場合は、USBケーブルを抜いてパソコンを再起動してください。
- この設定を行うと本機経由で音は出ますが、パソコンのスピーカーやヘッドホン端子からは音が出なくなります。
- 初期値では、ミキサーの設定でパンがセンターになっているため、再生音がモノラルに聴こえます。必要に応じてミキサーの設定を行ってください。

Mac OS XおよびiTunes

ここでは、OS X Mountain Lion (10.8) での設定方法を説明します。他のOSの場合には、取扱説明書 第6章「アプリケーションガイド」をご参照ください。

1. 《アプリケーション》フォルダーの内の《ユーティリティ》フォルダーの内にある《Audio MIDI設定》をダブルクリックし、《オーディオ装置》を開きます。
2. 《US-1200》をクリックして選択し、右クリックまたはcontrolキーを押しながら《US-1200》をクリックして表示されるポップアップメニュー内の《このサウンド出力装置を使用》をクリックします。
スピーカーのマークが《US-1200》に移動します。



メモ

本機を録音デバイスとして使う場合には、《US-1200》を《このサウンド入力装置を使用》に設定します。

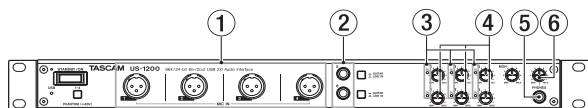
3. iTunesを起動し、オーディオファイルを選択して再生を行ってください。

メモ

初期値では、ミキサーの設定でパンがセンターになっているため、再生音がモノラルに聞こえます。必要に応じてミキサーの設定を行ってください。

入力音を調節する

入力音を聴きながらフロントパネルにある各操作子を必要に応じて操作します。



MIC IN [1-4] 端子 (①) または GUITAR / LINE IN [5-6] 端子 (②) からのアナログ入力レベルを、各ゲインつまみの左横部にあるOLインジケータ (③) が点灯しないように、各ゲインつまみ (④) で調節します。

ヘッドホンでモニター音を聴く場合は、PHONES端子 (⑤) にヘッドホンを接続した後、PHONESつまみ (⑥) で調節します。

メモ

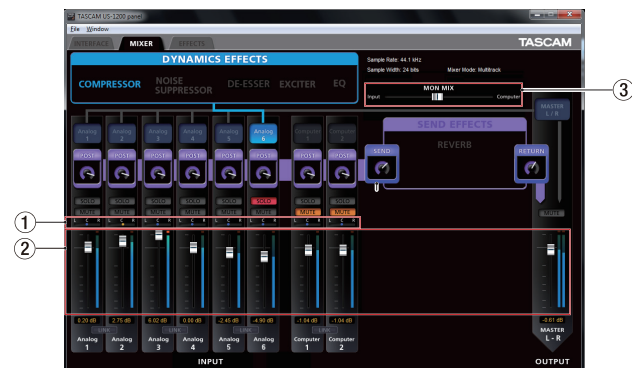
入力音がヘッドホンやOUTPUT (BALANCED) L / R端子からの出力から聞こえない場合には、《INTERFACE》タブ画面にある《LINE OUTPUTS》セクター、および《MIXER》タブ画面にある《MON MIX》スライダーの設定を確認してください。

ミキサーパネルでミキサー機能を使う

パソコンにインストールをしたドライバーソフトを起動し、パソコンのディスプレイ上にミキサーパネルを表示します。

- Windowsの場合
《コントロールパネル》から《TASCAM US-1200》、または《すべてのプログラム》にある《TASCAM》から《TASCAM US-1200 Mixer Panel》を選択して起動する。
- Mac OS Xの場合
《アプリケーション》から《TASCAM US-1200 Mixer Panel》を選択して起動する。

ミキサーパネルの《MIXER》タブをクリックして、下記の《MIXER》画面を表示します。



① パンスライダー

各チャンネルの入力信号のステレオ定位を調節します。パンスライダーのノブをマウスでクリックしたまま左右に動かし（ドラッグ）て、ステレオ定位を調節します。パンスライダーのノブの色は、中央《C》で青色、それ以外は黄色になります。

② チャンネルフェーダーおよびマスターフェーダー

各チャンネルの入力信号のマスター送りレベル、およびマスター出力レベルを調節します。各フェーダーのフェーダーノブをマウスでクリックしたまま上下に動かし（ドラッグ）て、レベルを調節します。現在のフェーダーの位置（フェーダーレベルのゲイン値）は、フェーダー下に《dB》で表示されます。

③ MON MIXスライダー

本機の入力信号（MIC IN端子とGUITAR / LINE IN端子の入力）と、USB経由で入力されたパソコンの出力信号とのミックスするバランスを調整します。左側にするほど本機の入力信号のバランスが大きくなり、右側にするほどパソコンの出力信号が大きくなります。

上記以外の設定内容について、詳しくは取扱説明書 第5章「ミキサーパネルの設定」の「《MIXER》タブ画面」をご参照ください。

この製品の取り扱いなどに関するお問い合わせは

タスカム カスタマーサポートまでご連絡ください。お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く10:00～12:00 / 13:00～17:00です。

タスカム カスタマーサポート 〒206-8530 東京都多摩市落合1-47



一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

0570-000-809

PHS・IP電話などからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号（下記）にお掛けください。

電話：042-356-9137 / FAX：042-356-9185

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

修理センターまでご連絡ください。
お問い合わせ受付時間は、日・祝日・弊社休業日を除く9:30～17:00です。

ティアック修理センター 〒358-0026 埼玉県入間市小谷田858



一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

0570-000-501

ナビダイヤルは全国どこからお掛けになっても市内通話料金でご利用いただけます。
PHS・IP電話などからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号（下記）にお掛けください。

新電電各社をご利用の場合は、「0570」がナビダイヤルとして正しく認識されず、「現在、この電話番号は使われておりません」などのメッセージが流れることがあります。
このような場合は、ご契約の新電電各社へお問い合わせいただくか、通常の電話番号（下記）にお掛けください。

電話：04-2901-1033 / FAX：04-2901-1036

■ 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

ティアック株式会社

〒206-8530 東京都多摩市落合1-47
<http://tascam.jp/>

Printed in China